

今後ご議論いただきたい事項

(1)総論

- 少子高齢化に伴う人口減少、グローバル化による競争の激化などの産業構造変化を踏まえ、人材の最適配置を図り、その能力を最大限活かすことにより、生産性・競争力向上にも寄与する等の観点から、職業能力開発の今後の在り方をどう考えるか。
- 労働市場の構造変化、特にいわゆるジョブ型労働市場の広がりや、産業間の労働移動の高まり等の観点から、職業能力開発の今後の在り方をどう考えるか。
- 女性、若者、高齢者をはじめとする全員参加の社会の実現の観点から、職業能力開発の今後の在り方をどう考えるか。

(2)産業界のニーズに合った職業能力開発の推進

- 産業界や地域のニーズを踏まえた職業能力開発はどうあるべきか。また、関係機関・関係者の役割・役割分担・連携をどのように考えるか。
- 訓練の効果をどのように把握し、活用していくべきか。また、能力評価との連携の在り方はどうあるべきか。
- 職業能力開発促進法に基づく職業訓練をはじめとする職業能力開発施策は、現行の訓練体系、訓練の実態等に沿ったものとなっているか。

(3)個人主導のキャリア形成支援

- 個人のキャリア形成に関する関係者の役割はどうあるべきか。特に労働者自身と企業の間はどうか。
- ジョブ・カードの活用促進、キャリア・コンサルティングの体制整備等の個人主導のキャリア形成支援を実現する上で、国、事業者等による支援の今後の在り方をどう考えるか。
- 職業能力開発促進法の体系における、ジョブ・カードやその活用促進、キャリア・コンサルティングの体制整備等、個人主導のキャリア形成支援策の位置づけをどう考えるか。

(4)外部労働市場型の職業能力評価制度の構築

- いわゆるジョブ型労働市場の広がり等を踏まえ、労働市場インフラとしての職業能力評価制度の今後の在り方をどう考えるか。特に、現行技能検定の在り方(見直し・拡充)や、労働市場政策における職業能力評価制度のあり方に関する研究会報告書で提言された業界検定の在り方(業界検定の役割、質保証の観点からの国の関与、合格の社会的効果等)についてどのように考えるか。

(5)ものづくり人材その他産業政策と連携した人材育成の推進

- ものづくりをはじめとする熟練技能を必要とする分野での業界、企業が職業能力開発に果たす役割や国等による支援についてどう考えるか。

(6)その他

- 職業能力開発施策と、学校におけるキャリア教育・職業教育との連携強化はどうあるべきか。